

平成 20 年度 薬理・毒性学Ⅳ 中間試験問題

小野担当分 (65 点)

問 1. 薬物アレルギーに関する次の問いに答えなさい。

- 1) 薬物アレルギーとは何か説明しなさい。
- 2) 薬物アレルギーの交叉性について説明しなさい。
- 3) 薬物アレルギーによる重大な副作用例を 3 つあげなさい。

問 2. 医薬品の依存性に関する次の問に答えなさい。

- 1) 依存のタイプを大きく二つに分け、それぞれを説明しなさい。
- 2) 退薬症候（以前は禁断症状と言われた）を説明しなさい。
- 3) 退薬症候を起こしやすい薬物の例を二つあげなさい。

問 3. 以下の問に答えなさい。

- 1) 主作用と副作用の関係を例をあげて説明しなさい。
- 2) サリドマイド薬害について説明しなさい。
- 3) リン酸オセルタミビルの抗インフルエンザウイルス活性のメカニズムを説明しなさい。

以上

問題 1. 薬物が視神経障害を引き起こした次の事例について設問に答えなさい。

1. クロロキン網膜症が日本で広まった要因について簡潔に説明しなさい。
2. ヒトに長期的にキノホルムを投与した場合に生じる副作用について説明しなさい。

問題 2. 聴覚に関する次の設問に答えなさい。

1. 蝸牛有毛細胞の音受容のメカニズムについて簡潔に説明しなさい。
2. ループ利尿薬の聴覚毒性に関係する重要なメカニズムは何か？

問題 3. 次の記述には誤り（一ヶ所とは限りません）があるかもしれません。その場合は誤りを指摘して正しく書き直しなさい。誤りのない場合は「正」と書きなさい。ただし、下線部は変更できません。

1. プラリドキシム (PAM) は神経ガスの解毒薬として使われる。BBB の透過性が良いので錯乱状態に効果が高い。
2. カルバメート系の殺虫剤は、アセチルコリンエステラーゼの活性部位のセリンの OH 基を不可逆的にリン酸化する。
3. 一部の NSAIDs はニューキノロンのグリシン受容体阻害作用を増強する。
4. MPTP はドパミン細胞で MPP+となる。
5. 水俣病の発生原因物質は、ブチル水銀である。
6. 臨床試験実施のための一般毒性試験、承認申請に必要な一般毒性試験は GCP に準拠して実施されなければならない。

以上